

くりやま老舗まつり



栗山が誇る老舗「北の錦」
小林酒造と「日本一きびだんご」谷田製菓が織りなす一大イベント「くりやま老舗まつり」が4月8日、9日の両日行われました。初日は天候に恵まれなかったものの、2日間で町内外から約3万人が来場。小林酒造の「第29回酒蔵まつり」会場では、この日だけの限定酒の試飲や販売、国の登録有形文化財である酒蔵の一般開放などが行われ賑わいました。谷田製菓の「第19回きびだんごまつり」会場では、きびだんごの試食のほか、きびだんご工場内部が開放され、昔ながらの製法できびだんごが出来上がるまで多くの方が見学していました。駅前通りのまちの駅「栗夢プラザ」では「本格手打ちそばまつり」、スイテック特設会場では「ふるさと田舎まつり2017」が同時開催されました。





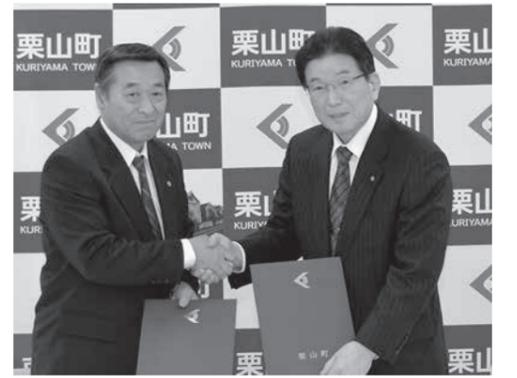
3/25 紙で雑貨を作ってみよう ものづくりWORKSHOP

身近な素材の「紙」を使っ
てものづくりを楽しみ、交流
を深めてもらおうと「くりや
まものづくりWORKSHOP
P」が、カルチャープラザ「E
ki」で行われました。講師に
「PAPER blanc」のスタッフ
を招き、ウォールクロック（壁
掛け時計）とアミアミBOX（づ
くりを実施。町内外から参加し
た30組は、スタッフの説明を受
けながら、世界に一つだけの手
づくり雑貨を完成させました。
参加した冬野創太くんは「上手
にできて良かったです」と話し
ていました。



3/27 災害時に燃料を供給 石油業協同組合と協定締結

町と南空知地方石油業協同組
合が「災害時における石油類燃
料の供給等に関する協定」を締
結しました。この協定には、災
害が発生または発生する恐れが
ある際に、同組合より石油類燃
料の優先供給や提供を行うこと
などが盛り込まれています。役
場で行われた締結式で、樺原紀
昭町長が「暖房燃料や車両燃料
を確保するためのものであり、
深く感謝を申し上げます」と述
べると、南空知地方石油業協同
組合の酒井茂理事長は「災害に
備えてこれからも協力していき
たい」と決意を語りました。



4/5 ささらなる活躍を期待 地域おこし協力隊委嘱状交付式

平成29年度の地域おこし協力
隊委嘱状交付式が役場会議室で
行われ、昨年度からの継続隊員
8人に樺原紀昭町長から委嘱状
が手渡されました。その後、隊
員が樺原町長ら関係者約20人を
前に活動の概要などを報告。西
脇宏伸さんは「里山の保全作業
日に町外の若者を受け入れるこ
とができた」と報告。報告を受
けた樺原町長は「皆さんの活動
は町外へのPRはもちろん、町
内にも大きな刺激となりまし
た。今後もさらなる活躍を期待
しています」と感謝の言葉を述
べました。



4/5 まちを明るく 鳥山電気工事清掃ボランティア

鳥山電気工事株式会社によ
る、街路灯の清掃ボランティア
が行われました。この取り組み
は、新入社員教育の一環として
実施し今回で4回目。4人の同
社従業員が高所作業車を使っ
て、街路灯のほこりをエアガン
で取り除き、クリナーでガラ
スを丁寧に磨き上げると街路灯
は見違えるほどきれいになりま
した。鳥山幸健社長は「まちを
明るくするために今後も取り組
んでいきたい」と話していまし
た。作業は4日間で中央通りに
設置されている144灯をきれ
いにさせていただきました。



4/15 力を合わせて地域をきれいに 角田小学校土曜授業

角田小学校で今年度最初の土
曜授業が開かれました。全校児
童や保護者、教員、角田地区ま
ちづくり協議会役員など約80人
が参加。4つのグループに分か
れて、学校周辺や児童公園、開
拓記念公園などのごみ拾いや折
れた枝集めなどを地域住民と協
力して行いました。感想を発表
した3年生の田中堅葵くんは
「吸い殻や缶のごみが多かった。
これからも地域をきれいにし
ていきたい」と話していました。
角田小では地域や保護者との連
携の中で、今年度は5回の土曜
授業を予定しています。



4/16 まちをきれいに 春の全町一斉清掃

春の全町一斉清掃が打ち上げ
花火を合図に午前7時から行わ
れました。早朝から各町内会・
自治会で多くの方々が参加し、
道路のごみ拾いや道路側溝に溜
まった土砂のかき出しなどを実
施。町民の皆さんの協力によっ
てまちはきれいになりました。



4/16 カエルなどの産卵調査 ハサンベツ里山地区

ハサンベツ里山地区でエゾア
カガエルとエゾサンショウウオ
の産卵調査が行われました。環
境省の「モニタリングサイト
1000里地調査」コアサイ
トの1カ所としてハサンベツ里
山地区が指定されており、例年調
査を実施。今年も、ハサンベツ
里山計画実行委員など約20人が
参加し、エゾアカガエルの卵
394塊とエゾサンショウウオ
の卵148塊を確認しました。
同実行委員会の高橋慎事務局長
は「産卵数が減少しているので、
何か対策を考えていく必要があ
ります」と話していました。



4/19 技能協会が案内看板を寄贈 子育て支援センター

栗山町技能協会が奉仕活動の
一環として子育て支援センター
「スキップ」前に案内看板を寄
贈しました。この看板は同協会
が今年4月に50周年を迎えたこ
とから、子育て支援を目的に設
置。栗山建設協会から資金や資
材の補助を受け、技能協会の会
員約15人が作成しました。寄贈
式で山崎信治会長は「子どもた
ちのためにと思い協力させてい
ただきました。情報発信に役立
ててほしい」と話すと、樺原紀
昭町長は「子育て支援センター
のPRに有効活用していきたいま
す」とお礼を述べました。

